

## 第4章 心の冒険教育プログラム「徳地アドベンチャー教育プログラム(TAP)」

### 1. TAPの申込み

#### (1) 申込みの条件

- ① 班構成・・・1班8～20人(男女混合で14人前後が望ましいです)。
- ② 指導者・・・本所の職員及び外部研修指導員が指導します(ファシリテーターといいます)。
- ③ 料金・・・1単位(3時間)1班 6,000円

※令和3年度から3時間未満又は日帰りでのTAPはお受けできない可能性があります。

#### (2) 申込み方法

- ① 電話でお申し込みください(指導者の手配がありますので、最低一ヶ月以上前までの申し込みにご協力ください)。
- ② その際、希望日・ねらい・人数・班数・年齢構成を確認します。
- ③ 学校等の早期予約団体については、その際にお申し込みください。

#### (3) 事前提出物

「TAP事前打合せシート」はホームページからダウンロードし、記入の上入所の2週間前までにご提出ください。

### 2. 当日の流れ

#### (1) 事前打合せ

30分前に団体引率者とファシリテーターで打合せを行い、以下のことを確認します。

- ① 団体がTAPを利用する目的の確認
- ② 班や参加者の人数確認(男女構成・クラス等)
- ③ 班や参加者の状態確認(体調・人間関係等)
- ④ 方法や場所等の確認(晴天時・雨天時により場所等の変更あり)
- ⑤ 引率者とファシリテーターの役割の確認

#### (2) 活動

- ① 参加者に対して挨拶と紹介をします。
- ② 各班に分かれて活動を開始します。
- ③ 「アイスブレイクゲーム」という班の緊張状態をほぐす活動をしながら、学びの環境を少しずつ築いていきます。
- ④ 班の状態によって、目的を持ったゲームや振り返りを繰り返し、学びを深めていきます。
- ⑤ 一般的に3時間コースの場合、ローエレメントを使った展開まで進みます。  
ただし、天気や班の状態によって、ローエレメントを使えないこともあります。
- ⑥ 振り返りを体験の後に効果的に行うことで、体験から得られた「気づき」「学び」を大切に、一般化ができるよう支援します。
- ⑦ 体験を繰り返すことで、次のチャレンジへの意欲を高めていきます。
- ⑧ 活動終了後、各班に同行している引率者へ引き継ぎます。

#### (3) 引率者の役割

- ① **各班に必ず1名の引率者が帯同してください。**
- ② 原則として、活動の様子を見守り、参加者の発言や表情、新たな発見、変容等を意識してご覧ください(「TAP引率者記録シート」への記入をお願いしています)。



- ③ 参加者の学びの機会を失うような発言や行動はご遠慮ください。
- ④ ファシリテーターが引率者に対して、必要に応じて参加を呼びかけます。
- ⑤ 活動中体調が悪くなった参加者、けがをした参加者の対応をお願いします。

#### (4) 留意事項

- ① このプログラムは、万能でも即効性があるわけでもありません。3時間や6時間の活動では全てを変えることはできません。変容を促す「きっかけづくりの場」とお考えください。
- ② ハイエレメントは、団体の目的や班の状態、活動時間等によって使用するかどうかをファシリテーターが判断します。
- ③ 活動の状況によっては、夕べのつどいに参加できないことがあります。

### 3. 「徳地アドベンチャーコース」の紹介

- ① 「徳地アドベンチャーコース」とは、丸太やワイヤーなどで構成されている障害物コースであり、安全な状況下でアドベンチャー体験を行うことができます。班での問題解決や全員での意思決定、信頼感の醸成に効果的です。
- ② 「徳地アドベンチャーコース」には【ローエレメント】と【ハイエレメント】の2つのコースがあります。
  - ローエレメント・・膝ぐらいまでの高さで設定されたコース。班の他のメンバーによってサポートされながら行う。
  - ハイエレメント・・高さ6～10mに設定されたコース。ハーネスとビレイロープで班のメンバーに安全を確保してもらいながら行う。

#### 【ローエレメント】13種20基（室内用6種6基含む）

##### 例) 「浮き台わたり」

特徴：吊るされたロープにぶらさがり、スイングしながら目的地にわたります。立ち入り禁止区域を設定し、そこに落ちないように全員が目的地にわたりきることを目指します。



#### 【ハイエレメント】4種4基

##### 例) 「パンパープランク」

特徴：8m程度の高さに固定してある台から、少し離れた位置にぶら下がっているバーにタッチすることを目指してジャンプします。

